

〇〇地区防災計画

本計画の総称となる地区名等を記載し、計画名を記載しましょう。

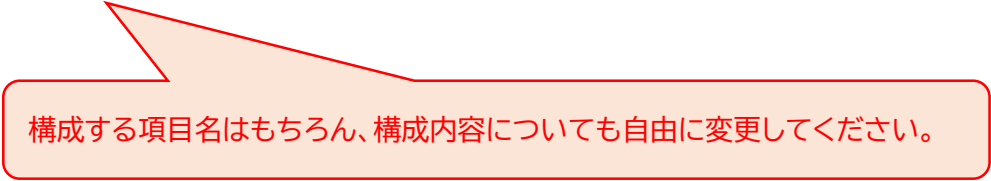
令和〇年〇〇月

〇〇〇〇 (組織名(自主防災組織、町内会、自治会等))

策定年月、計画の策定主体となる組織名(自主防災組織、町内会、自治会等の名称)を記載してください。主体となる組織が複数となる場合は、複数の組織名を列挙しても構いません。

目 次

1. 計画の対象範囲.....
2. 計画の目的・目標.....
3. 地区について.....
4. 活動内容.....
5. 地区の活動体制.....
6. 計画の実践と検証.....



構成する項目名はもちろん、構成内容についても自由に変更してください。

地区防災計画について

「地区防災計画」は、平成 25 年に災害対策基本法の改正により創設された制度に基づき作成する計画です。

我が国の防災計画は、国レベルの防災基本計画と、都道府県及び市町村の地域防災計画があり、それぞれのレベルで防災活動が実施されています。

一方で、東日本大震災において、自助、共助及び公助がうまくかみあわないと大規模広域災害後の対策がうまく働かないことが強く認識されました。

市町村の行政機能が麻痺するような大規模広域災害が発生した場合には、まずは、自分自身で自分の命や身の安全を守ることが重要であり、その上で、地域コミュニティでの相互の助け合いが重要になります。

その教訓を踏まえて、平成 25 年の災害対策基本法改正では、地域コミュニティにおける共助の推進のために「地区防災計画制度」が新たに創設されました。

地区防災計画は、地域特性や現況をよく知る住民が主体となって作成し、行政に提案する計画であり、地区の防災力を強化していかうとするものです。

この度、〇〇地区において、これまで津波避難訓練、地域での避難場所の整備といった防災活動を実施しており、今後も地区内の防災活動を一層向上させるため、〇〇地区防災計画を策定しました。

必要に応じて、本計画に関するこれまでの地区の防災活動について記載してください。

1. 計画の対象範囲

「〇〇地区防災計画」では、下記の地区を対象として定めます。

- ◆ 〇〇市〇〇町字〇〇
- ◆ 〇〇市〇〇町〇〇地区
- ◆ 〇〇町字〇〇
- ◆ 〇〇町〇〇地区

計画の対象となる地区(自主防災会、自治会、大字、小字等の名称)を記載してください。複数の地区が対象となる場合は、全ての名称を記載してください。

位置図を挿入します

計画の対象となる地区の位置図を掲載しましょう。地図データの準備は、市町村に相談しましょう。

2. 計画の目的・目標

自助と共助の重要性を理解することで防災意識を高め、〇〇地区における防災力の維持・向上を図り、人的被害ゼロを目標とします。

3. 地区について

計画の目的・目標について、自由に設定してください。

(1) 地区の特性

本地区は、以下のような特性を持っています。

(例)

- ・人口は約〇〇〇〇人であり、65歳以上の人口は〇〇〇〇人となっており、地区人口の〇〇%を占め、高齢化が顕著である。(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)
- ・世帯数は〇〇〇〇世帯である。(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)
- ・地区の東部が海に面している。
- ・沿岸部には平野部が広がっており、一部は埋め立てにより形成されている。
- ・低地の平野部に家屋等が多い地区である。
- ・住宅密集地にある家屋の多くは築年数が古い。
- ・内陸部は山地が広がり、傾斜の多い地形が多くなっている。
- ・内陸部は土砂災害警戒区域等が多く存在する。
- ・地区内を流れる〇〇川は、大雨で増水しやすい。(〇〇年前に大雨で氾濫したことがある)

地区の自然特性(地形等)や社会特性(人口や世帯数等)について記載しましょう。また、そこから想定されるリスクについても記載しましょう。

〇〇地区防災計画

(2) 災害

① 過去の災害

〇〇地区は、これまで以下のような災害による被害を受けています。

(例)

◆ 〇〇〇〇年 〇〇地震

- ・家屋の倒壊や火災
- ・地区全域で液状化
- ・地区南部が津波による浸水
- ・字〇〇の民家の石垣が崩れ、家屋が倒壊した

◆ 〇〇〇〇年 台風〇号

- ・内水氾濫が発生し、地区全体で家屋の床上浸水〇〇戸、床下浸水が〇〇戸
- ・字〇〇でがけ崩れが発生し、〇〇集落が一時孤立
- ・暴風による屋根への被害が〇〇戸、倒木被害が数箇所が発生
(倒木により電線が寸断され、〇〇〇〇戸が停電)

◆ 〇〇〇〇年 梅雨前線

- ・河川が氾濫し、地区全体で家屋の床上浸水〇〇戸、床下浸水が〇〇戸
- ・アンダーパスが浸水し、車に取り残された運転手に救助隊が出動
- ・字〇〇でがけ崩れが発生し、〇〇集落が数日に渡って孤立

過去に起きた災害について、記載しましょう。
当時の被害数等の詳細な情報については、市町村に相談しましょう。

② 想定される災害

ア 南海トラフ巨大地震

第一次は人的・物的被害、第二次はライフライン被害、交通施設被害、生活支障等について想定されたものになります。

平成25年に公表された徳島県南海トラフ巨大地震の被害想定（第一次・第二次）において、本地区のある〇〇〇（市町村名）では、以下の被害が想定されています。（なお、各合計値については、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある。）

南海トラフ巨大地震で想定される〇〇〇（市町村名）の被害①

震度		〇										
建物全壊・焼失棟数	揺れ	〇〇〇棟		急傾斜地	冬深夜	〇〇〇人		揺れ	冬深夜	〇〇〇人		
		〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人		
		〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人		
		〇〇〇棟										
	津波	〇〇〇棟		津波	冬深夜	〇〇〇人		（うち家具転倒）	冬深夜	〇〇〇人		
		〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人		
		〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人		
	火災	冬深夜	〇〇〇棟		（うち自力脱出困難）	冬深夜	〇〇〇人		急傾斜地	冬深夜	〇〇〇人	
		夏12時	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人	
		冬18時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人	
合計	冬深夜	〇〇〇棟		火災	冬深夜	〇〇〇人		津波	冬深夜	〇〇〇人		
	夏12時	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人		
	冬18時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人		
建物半壊棟数	揺れ	〇〇〇棟		その他※	冬深夜	〇〇〇人		火災	冬深夜	〇〇〇人		
	液状化	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人		
	急傾斜地	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人		
	津波	〇〇〇棟										
	合計	〇〇〇棟		合計	冬深夜	〇〇〇人		その他※	冬深夜	〇〇〇人		
揺れ	冬深夜	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人		
	夏12時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人		
	冬18時	〇〇〇棟										
死者数	（うち家具転倒）	冬深夜	〇〇〇棟		合計			合計	冬深夜	〇〇〇人		
		夏12時	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人		夏12時	〇〇〇人		
		冬18時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人		冬18時	〇〇〇人		

地区によっては、影響のない項目等を省略することも可能です。

※その他は、ブロック塀・自動販売機転倒、屋外落下物の想定数

徳島県の南海トラフ巨大地震の被害想定（第一次及び第二次）を参照し、みなさんのお住いの市町村の被害想定等を記載しましょう。参照先は以下のとおりです。
 ◆第一次：<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2013071900016/>
 ◆第二次：<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2013112100023/>

南海トラフ巨大地震で想定される〇〇〇（市町村名）の被害②

避難者数（冬 18 時）	避難所生活者	警報解除後当日	〇〇〇人
		1 週間後	〇〇〇人
		1 か月後	〇〇〇人
	避難所外生活者	警報解除後当日	〇〇〇人
		1 週間後	〇〇〇人
		1 か月後	〇〇〇人
津波一時避難者数（冬深夜）			〇〇〇人
停電軒数／停電率（冬 18 時）	直後	〇〇〇軒／〇〇〇%	
	1 日後	〇〇〇軒／〇〇〇%	
固定電話不通回線数／不通率（冬 18 時）	通信率（直後）	〇〇〇回線／〇〇〇%	
	通信率（1 日後）	〇〇〇回線／〇〇〇%	
上水道断水人口／断水率（冬 18 時）	直後	〇〇〇人／〇〇〇%	
	1 日後	〇〇〇人／〇〇〇%	
	1 週間後	〇〇〇人／〇〇〇%	
	1 か月後	〇〇〇人／〇〇〇%	
下水道支障人口／支障率（冬 18 時）	直後	〇〇〇人／〇〇〇%	
	1 日後	〇〇〇人／〇〇〇%	
	1 週間後	〇〇〇人／〇〇〇%	
	1 か月後	〇〇〇人／〇〇〇%	
帰宅困難者数			〇〇〇人
医療機能（冬 18 時）：入院需要者数			〇〇〇人
必要応急仮設住宅戸数（冬 18 時）			〇〇〇戸
災害廃棄物（冬 18 時）	重量換算（計）	〇〇〇万トン～〇〇〇万トン	
	体積換算（計）	〇〇〇万 m ³ ～〇〇〇万 m ³	
閉じこめの可能性があるエレベータの台数			〇〇〇基
避難所生活者数（冬 18 時）（1 週間後）			〇〇〇人
うち災害時要援護者数 （要配慮者数）	65 歳以上の高齢単身者		〇〇〇人
	5 歳未満乳幼児		〇〇〇人
	身体障がい者		〇〇〇人
	知的障がい者		〇〇〇人
	要介護認定者（要支援者除く）		〇〇〇人
	難病患者		〇〇〇人
	妊産婦		〇〇〇人
	外国人		〇〇〇人
孤立集落数			〇〇
うち農村集落			〇〇
うち漁村集落			〇〇

南海トラフ巨大地震を想定した津波ハザードマップ(〇〇〇(市町村名)発行)によると、本地区の全域(または字〇〇、字〇〇の一部)が津波災害警戒区域に含まれています。

津波ハザードマップ(南海トラフ巨大地震想定)を挿入します
(必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう)

市町村の作成している津波ハザードマップを貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。また、以下の徳島県が運営するWebページ等でも、各市町村で想定されている津波災害警戒区域、浸水想定等を確認することができます。

<津波災害警戒区域>

◆徳島県総合地図提供システム「津波災害警戒区域」

参照先:https://maps.pref.tokushima.lg.jp/tsunami_mesh/

<浸水想定等>

◆徳島県総合地図提供システム「防災・減災マップ」

参照先:<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/bousai/>

津波による被害が想定されていない地区は掲載する必要はありません。ただし、職場や学校等、自宅以外の主な生活圏が津波災害警戒区域内に位置する住民の方が多い場合は、想定する災害として津波を含めることも可能です。生活圏を含めても津波による被害が想定されない場合は、次ページを参照してください。

〇〇地区防災計画

南海トラフ巨大地震を想定した〇〇地震ハザードマップ（〇〇〇（市町村名）発行）では、本地区周辺地域は以下のように示されています。

地震ハザードマップ（南海トラフ巨大地震想定）を挿入します
（必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう）

市町村の作成している地震ハザードマップ(南海トラフ巨大地震想定)を貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。

また、以下の徳島県が運営する Web ページ等でも、各市町村で想定されている震度分布や液状化危険度の想定を確認することができます。

◆徳島県総合地図提供システム「防災・減災マップ」

参照先:<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/bousai/>

南海トラフ巨大地震を想定した地震ハザードマップが作成されているか、今後の作成予定も含めて市町村に確認しましょう。作成されていない場合は、上記の徳島県総合地図提供システム「防災・減災マップ」等を活用してください。

イ 中央構造線・活断層地震

平成29年に公表された徳島県中央構造線・活断層地震の被害想定において、本地区のある〇〇〇(市町村名)では、以下の被害が想定されています。(なお、各合計値については、十の位または百の位で処理しており、合計が合わない場合がある。)

中央構造線・活断層地震で想定される〇〇〇(市町村名)の被害①

震度		〇											
建物全壊・焼失棟数	揺れ	〇〇〇棟		建物倒壊	冬深夜	〇〇〇人		建物倒壊	冬深夜	〇〇〇人			
	液状化	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人			
	急傾斜地	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人			
	火災	合計	冬深夜	〇〇〇棟		うち家具転倒	冬深夜	〇〇〇人		うち家具転倒	冬深夜	〇〇〇人	
			夏12時	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人	
			冬18時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人	
	合計	冬深夜	〇〇〇棟		急傾斜地	冬深夜	〇〇〇人		急傾斜地	冬深夜	〇〇〇人		
		夏12時	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人		
		冬18時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人		
	建物半壊棟数	揺れ	〇〇〇棟		火災	冬深夜	〇〇〇人		火災	冬深夜	〇〇〇人		
液状化		〇〇〇棟		夏12時		〇〇〇人		夏12時		〇〇〇人			
急傾斜地		〇〇〇棟		冬18時		〇〇〇人		冬18時		〇〇〇人			
合計		合計	冬深夜	〇〇〇棟		その他※	冬深夜	〇〇〇人		その他※	冬深夜	〇〇〇人	
			夏12時	〇〇〇棟			夏12時	〇〇〇人			夏12時	〇〇〇人	
			冬18時	〇〇〇棟			冬18時	〇〇〇人			冬18時	〇〇〇人	
合計		合計	冬深夜	〇〇〇棟		合計	冬深夜	〇〇〇人		合計	冬深夜	〇〇〇人	
	夏12時		〇〇〇棟		夏12時		〇〇〇人		夏12時		〇〇〇人		
	冬18時		〇〇〇棟		冬18時		〇〇〇人		冬18時		〇〇〇人		

※ その他は、ブロック塀・自動販売機転倒、屋外落下物の想定数

地区によっては、影響のない項目等を省略することも可能です。

徳島県の中央構造線・活断層地震の被害想定を参照し、みなさんのお住いの市町村の被害想定等を記載しましょう。

◆徳島県中央構造線・活断層地震被害想定公表について
参照先:<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2017072500091/>

中央構造線・活断層地震で想定される〇〇〇（市町村名）の被害②

避難者数（冬18時）	避難所生活者	1日後	〇〇〇人
		1週間後	〇〇〇人
		1か月後	〇〇〇人
	避難所外生活者	1日後	〇〇〇人
		1週間後	〇〇〇人
		1か月後	〇〇〇人
停電軒数／停電率（冬18時）		直後	〇〇〇軒／〇〇〇%
		1日後	〇〇〇軒／〇〇〇%
固定電話不通回線数／不通率（冬18時）		通信率（直後）	〇〇〇回線／〇〇〇%
		通信率（1日後）	〇〇〇回線／〇〇〇%
上水道断水人口／断水率（冬18時）		直後	〇〇〇人／〇〇〇%
		1日後	〇〇〇人／〇〇〇%
		1週間後	〇〇〇人／〇〇〇%
		1か月後	〇〇〇人／〇〇〇%
下水道支障人口／支障率（冬18時）		直後	〇〇〇人／〇〇〇%
		1日後	〇〇〇人／〇〇〇%
		1週間後	〇〇〇人／〇〇〇%
		1か月後	〇〇〇人／〇〇〇%
帰宅困難者数			〇〇〇人
医療機能（冬18時）：入院需要者数			〇〇〇人
必要応急仮設住宅戸数（冬18時）			〇〇〇戸
災害廃棄物（冬18時）			〇〇〇万トン～〇〇〇万トン
閉じこめの可能性があるエレベータの台数			〇〇〇基
避難所生活者数（冬18時）（1週間後）			〇〇〇人
うち災害時要援護者数 （要配慮者数）	65歳以上の高齢単身者		〇〇〇人
	5歳未満乳幼児		〇〇〇人
	身体障がい者		〇〇〇人
	知的障がい者		〇〇〇人
	要介護認定者（要支援者除く）		〇〇〇人
	難病患者		〇〇〇人
	妊産婦		〇〇〇人
	外国人		〇〇〇人
孤立集落数			〇〇
うち農村集落			〇〇
うち漁村集落			〇〇

〇〇地震ハザードマップ（〇〇〇（市町村名）発行）では、本地区周辺地域は以下のように示されています。

**地震ハザードマップ（中央構造線・活断層地震）を挿入します
（必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう）**

市町村が地震ハザードマップを作成している場合は、本ページに貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。

また、以下の徳島県が運営する Web ページ等でも、中央構造線・活断層地震で想定されている震度分布、液状化危険度の想定を確認することができます。

- ◆徳島県総合地図提供システム「防災・減災マップ」
参照先：<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/bousai/>
- ◆徳島県総合地図提供システム「特定活断層調査区域等」
参照先：<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/katsudansou/>

中央構造線・活断層地震を想定した地震ハザードマップが作成されているかは、今後の作成予定も含めて市町村に確認しましょう。作成されていない場合は、上記の徳島県総合地図提供システム「防災・減災マップ」等を活用してください。

〇〇地区防災計画

ウ 洪水

〇〇川の洪水ハザードマップ（〇〇〇（市町村名）発行）によると、本地区の全域（または字〇〇、字〇〇の一部）が浸水想定区域に含まれています。

洪水ハザードマップ、洪水浸水想定区域図等を挿入します
（必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう）

本計画の策定にあたっては、想定最大規模の浸水想定区域を基本とします。
貼り付けるマップも、想定最大規模を示したものを選択しましょう。

市町村の作成している洪水ハザードマップを貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。また、以下の徳島県が運営する Web ページ等でも、各河川で想定されている浸水想定区域を確認することができます。

◆徳島県水防・砂防情報マップ

参照先：<https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/Top.aspx>

洪水による被害が想定されていない地区は掲載する必要はありません。ただし、職場や学校等、自宅以外の主な生活圏が洪水による浸水想定区域内に位置する住民の方が多い場合は、想定する災害として洪水を含めることも可能です。なお、河川によっては被害想定がされていないところもあります。河川の被害想定及びハザードマップが作成されているかは、今後の作成予定も含めて市町村に確認しましょう。作成されていない場合は、上記の「徳島県水防・砂防情報マップ」等を活用してください。

エ 高潮

高潮ハザードマップ（〇〇〇（市町村名）発行）によると、本地区の全域（または字〇〇、字〇〇の一部）が避難対象となっています。

高潮ハザードマップ、高潮浸水想定区域図等を挿入します
（必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう）

市町村の作成している高潮ハザードマップを貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。また、以下の徳島県が運営する Web ページ等でも、高潮浸水想定区域を確認することができます。

◆徳島県総合地図提供システム「高潮浸水想定区域図」
参照先：<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/takashio/>

高潮による被害が想定されていない地区は掲載する必要はありません。ただし、職場や学校等、自宅以外の主な生活圏が高潮による浸水想定区域内に位置する住民の方が多い場合は、想定する災害として高潮を含めることも可能です。なお、高潮ハザードマップが作成されているかは、今後の作成予定も含めて市町村に確認しましょう。作成されていない場合は、上記の徳島県総合地図提供システム「高潮浸水想定区域図」等を活用してください。

〇〇地区防災計画

オ 内水氾濫

内水ハザードマップ（〇〇〇（市町村名）発行）によると、本地区の全域（または字〇〇、字〇〇の一部）が避難対象となっています。

内水ハザードマップを挿入します
(必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう)

市町村の作成している内水ハザードマップを貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。また、以下の徳島県が運営する Web ページ等でも、参考として過去の浸水痕跡情報の事例を確認することができます。(内水氾濫以外の浸水痕跡を含みます)

◆徳島県総合地図提供システム「平成26年台風12号11号浸水痕跡マップ」
参照先:<https://maps.pref.tokushima.lg.jp/sinsui/>

内水氾濫による被害が想定されていない地区は掲載する必要はありません。ただし、職場や学校等、自宅以外の主な生活圏が内水氾濫による浸水想定区域内に位置する住民の方が多い場合は、想定する災害として内水氾濫を含めることも可能です。

なお、内水ハザードマップが作成されているかは、今後の作成予定も含めて市町村に確認しましょう。作成されていない場合は、上記の徳島県総合地図提供システム「平成26年台風12号11号浸水痕跡マップ」等を活用してください。

カ 土砂災害

土砂災害ハザードマップ（〇〇〇（市町村名）発行）によると、本地区（字〇〇、字〇〇）の一部が土砂災害警戒区域に含まれています。

土砂災害ハザードマップを挿入します
(必要に応じて貼り付ける枚数を以下に増やしましょう)

市町村の作成している土砂災害ハザードマップを貼り付けましょう。マップが冊子等で複数ページに分かれている場合、みなさんの地区が表示されているページを貼り付けましょう。マップデータの提供等については、市町村に相談しましょう。

また、以下の徳島県が運営する Web ページ等でも、土砂災害警戒区域を確認することができます。

◆徳島県水防・砂防情報マップ

参照先:<https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/Top.aspx>

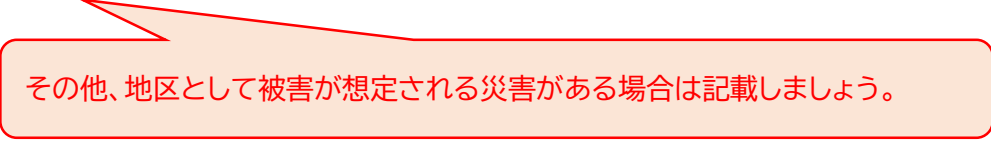
土砂災害警戒区域が存在しない地区は掲載する必要はありません。ただし、職場や学校等、自宅以外の主な生活圏が土砂災害警戒区域内に位置する住民の方が多い場合は、想定する災害として土砂災害を含めることも可能です。

なお、土砂災害ハザードマップが作成されているかは、今後の作成予定も含めて市町村に確認しましょう。作成されていない場合は、上記の「徳島県水防・砂防情報マップ」等を活用してください。

〇〇地区防災計画

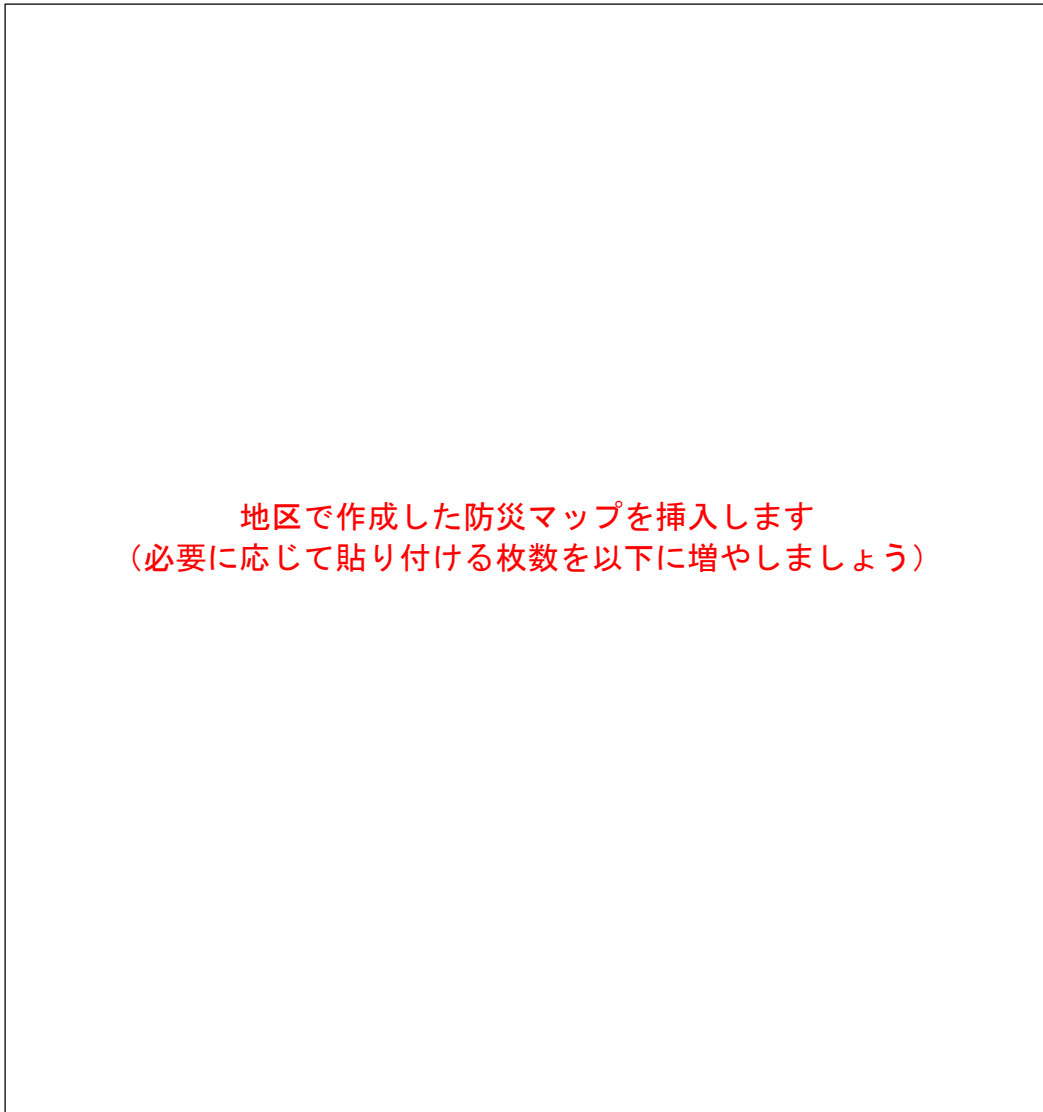
オ その他災害

(必要に応じて記載しましょう)



その他、地区として被害が想定される災害がある場合は記載しましょう。

(3) 〇〇地区防災マップ



◆追記事項

- ・津波時の避難方法は、道路状況の悪化による逃げ遅れの防止や、渋滞発生による緊急車両の通行の妨げにならないよう、徒歩を原則とします。
- ・避難行動要支援者への支援については、個別避難計画に基づき実行します。
- ・上記マップは、訓練結果等を踏まえ、必要に応じて修正を行います。

など

マップ内で表記しきれなかった事項がある場合は、追記事項として記載しましょう。特に、避難方法、避難ルート、避難行動要支援者への対応について、マップ内で記載がない場合は、上記の追記事項や「4. 活動内容」等で追記しましょう。

〇〇地区防災計画

(4) 本計画の対象とする災害

〇〇地区では、地区の特性、過去の災害、想定される災害を考慮し、本地区への被害が最も大きいと考えられることから、本計画の対象とする災害を、〇〇〇〇〇による災害とします。

計画の対象とする災害を絞り込む場合は、その災害の種別等を記載しましょう。

平常時の活動内容について、これまで行ってきた活動、これから進めていきたい活動を自由に記載してください。

4. 活動内容

(1) 平常時の取り組み

いざというときに地区の力が発揮できるよう、地区住民で協力して防災活動に取り組みます。

① 防災知識の普及・啓発

防災対策に求められる事は、「災害は止まらないがどのようにして身を守るか」ということに住民のひとり一人が関心を持ち、その備えをすることであり、このことが日頃の重要な活動となります。そのために必要な防災知識の普及や啓発活動を次のとおり行なうこととします。

ア 普及啓発事項

- ・ 防災組織及び防災計画の取組みに関すること。
- ・ 風水害、地震、津波、火災などの知識に関すること。
- ・ 風水害、津波時の早期避難に関すること。
- ・ 災害発生後の地域活動の在り方に関すること。
- ・ 各家庭における火災警報器、消火器の設置に関すること。
- ・ 各家庭における住宅の耐震化、家具の転倒防止に関すること。
- ・ 各家庭における食料等の備蓄に関すること。
- ・ 情報収集及び停電時の対応に関すること。
- ・ 非常持出し、自主避難に関すること。
- ・ その他防災に関すること。

これらの項目について、地区の活動で実践できそうなものがないか、平常時から地区での取り組みを決定する上での参考としてください。

イ 普及啓発の方法

- ・ 広報誌、チラシ、ポスター等の配布
- ・ 地区集会、研修会、映画会、研修会等の開催
- ・ パネル等の展示
- ・ 住民運動会への防災種目の導入

ウ 実施時期

年度当初の運営会議において計画を審議し、適宜実施します。

〇〇地区防災計画

② 地区内の危険箇所の把握

地区での防災対策を行うには、地区の実情を知ることが必要不可欠です。

本地区では、防災まち歩きや災害図上訓練等を通して、地区内の危険箇所や防災上問題のある場所等を確認し、地区独自の防災マップを作成しています。今後は避難場所の増設や、危険箇所の改善等、必要に応じて防災マップの検証・見直しを行います。

③ 指定避難所・指定緊急避難場所・避難経路の確認

災害時には素早く、安全に避難することが必要です。地区住民の一人ひとりが、自分が避難する指定避難所・指定緊急避難場所を確認するとともに、そこへの避難経路も確認しておき、危険な場所がないか事前に把握しておきます。

本地区では年1回、避難訓練を実施し、地域ごとの指定緊急避難場所の場所や各自の避難経路を確認しています。また、避難場所や避難経路の草刈りを定期的にも実施しています。

**地区住民が避難を予定している
指定避難所及び指定緊急避難場所の
写真を挿入しましょう。
(避難を予定している場所が多岐にわたる場合は、
複数ページに渡って掲載するか、
代表する数箇所のみ掲載でも構いません。)**

④ 防災資機材の点検、食料等の備蓄

防災資機材や備蓄品等は、災害発生時やその後の生活に役立ちます。

本地区では防災資機材や備蓄品等を整備し、日頃の点検を行い、使い方を確認しています。また、防災資機材や備蓄物資の保管場所は、耐震性のある〇〇公民館の3階に設置しており、地震、津波、洪水等による被害を受けない場所を選定しています。

⑤ 防災訓練の実施

防災訓練は、災害時に、素早く、的確に行動するために欠かせない活動です。地区住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行い、災害時の動きを確認します。

本地区は、これまで避難所の運営訓練、炊き出し訓練等の防災訓練を年1回（〇月頃）定期的に行っています。また、防災知識の普及・啓発も兼ねたタイムラインの作成なども行っています。

防災訓練後には、訓練の振り返り等を行い、必要に応じて活動内容や体制の見直しを行うとともに、訓練内容もあわせて改善しています。

地区で行った防災訓練時の写真を挿入しましょう。
(地区が参加したものであれば、市町村等主催の防災訓練の写真でも構いません)

〇〇地区防災計画

(2) 災害時の取り組み

災害時は、負傷者の発生や火災等様々な事態が発生する可能性があります。〇〇〇(市町村名)災害対策本部等の関係機関とも連携しながら、地区住民で力を合わせて被害の軽減に向けて活動します。

① 情報の収集・伝達

防災行政無線・テレビ・ラジオ等から正しい情報を収集し、地区住民に伝達します。また、地区の被災状況や火災発生状況等を取りまとめ、〇〇〇(市町村名)災害対策本部等の関係機関へ報告します。

② 初期消火活動

消防団員や消防署員が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。あくまで初期消火であるため、無理はせず、消防団員や消防署員の到着後は、その指示に従って行動します。ただし、津波注意報、津波警報、大津波警報発令時は津波からの避難を最優先とします。

③ 救出・救助、医療救護活動

自分自身の安全に注意しながら、地区住民で協力して負傷者や倒壊した家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

救出・救助後は、適切な応急手当を行います。重傷者・中等傷者がいる場合には、消防機関に通報し、救護所等の医療救護施設に搬送するなど、救護活動を行います。

④ 避難誘導

防災マップや、地区内の被災状況を確認しながら、災害の種類に応じた指定避難所や指定緊急避難場所に速やかに安全に避難します。地区で避難誘導や呼びかけを行うなど、地区住民が避難しやすくなるような工夫をします。高齢者や障がい者等の避難に支援が必要な方については、避難行動要支援者名簿や個別避難計画を活用し支援を行います。そのため、行政とも相談のうえ、家族や福祉関係者等と事前に話し合って計画づくりを進めます。

⑤ 避難所運営

〇〇〇(市町村名)避難所運営マニュアル等に沿って、行政やボランティア団体等と連携し、役割分担や避難所のルール、食料の配布方法、新型コロナウイルス感染症等の感染対策について、事前に話し合った上で、地区住民全体で避難所の運営に当たります。このとき、避難所生活を共にする可能性の高い近隣地区の住民も含めた話し合いも検討します。

また、新型コロナウイルス感染症等の感染対策については、津波災害後の場合、使用できる避難所の数が他の災害後よりも少なくなるため、スペースの確保等への配慮がより重要となるため、二次避難先となる指定避難所へ向かう住民の調整も必要に応じて実施します。

5. 地区の活動体制

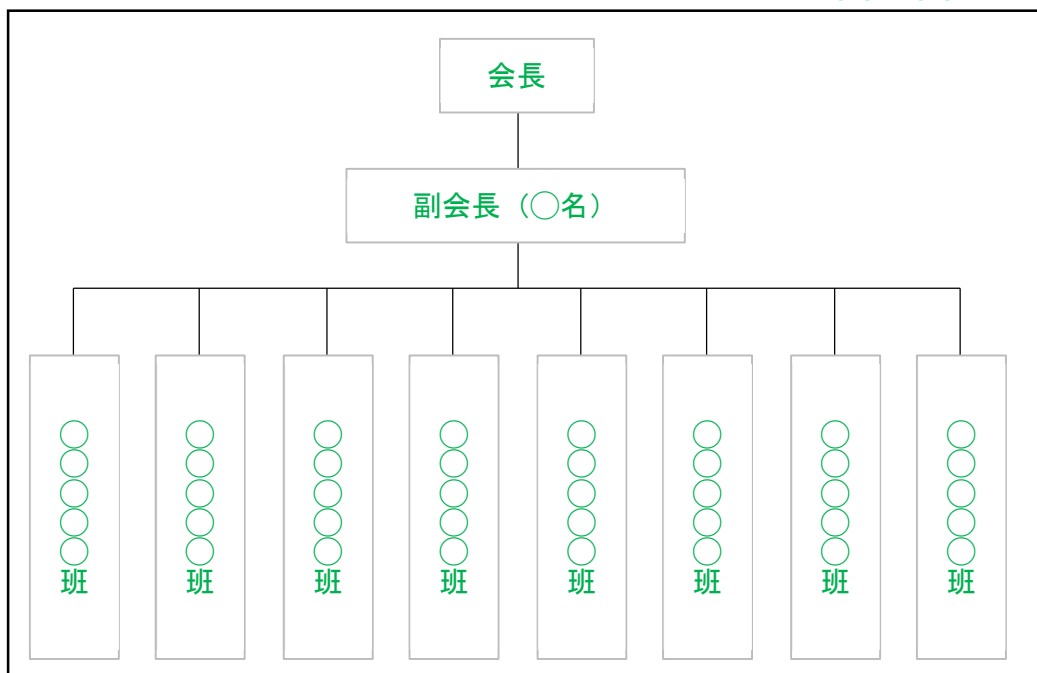
(1) 活動体制

本地区内における自主的な防災に関する活動体制は、会長1名、副会長〇名のほか、〇〇班、〇〇班等、以下の図表に示す各班から構成され、組織構成図、平常時及び災害時の役割は次のとおりです。なお、会長、副会長、各班の構成及び人員は名簿に整理し、変更等があった場合は随時更新を行います。

〇〇地区の活動体制

<組織構成図>

令和〇〇年〇〇月現在



活動体制を組織構成図に整理しましょう。

<各役職・班の役割>

令和〇〇年〇〇月現在

役職・班名等		平常時の役割	災害時の役割
会長	→	平常時における地区の防災活動の統括	災害時における地区の応急活動の統括
副会長	→	会長の補佐、会長不在時の会長代理など	会長の補佐、会長不在時の会長代理など
総務班	→	全体調整、要配慮者の把握	全体調整、被害・避難状況の全体把握
情報班	→	情報の収集・共有・伝達	情報の収集・共有・伝達(状況把握、報告活動等)
消火班	→	器具点検、防災広報	初期消火活動
救出・救護班	→	資機材調達・整備	負傷者等の救出、救護活動
避難誘導班	→	指定避難所、指定緊急避難場所、避難経路等の確認	住民の避難誘導活動
給食・給水班	→	器具点検	水、食料等の配分、炊き出し等の燃料確保、給食・給水活動
連絡調整班	→	災害時の対応等について、近隣の他団体との事前調整	災害時の対応等について、他団体との調整
物資配分班	→	個人備蓄等の啓発活動	物資配分、物資需要の把握
清掃班	→	ごみ処理対策の検討	ごみ処理の指示
衛生班	→	仮設トイレの対策検討	防疫対策、し尿処理
安全点検班	→	危険箇所の巡回・点検	二次災害軽減のための広報
防犯・巡回班	→	警察との連絡体制の検討	防犯・巡回活動
応急修繕班	→	資機材の修繕、技術者との連携検討	応急修理の支援

実情にあった無理のない防災活動体制を構築してください。班構成についても、当初から上記の記載例のようにすべての班を立ち上げるのではなく、災害時における自分たちの活動内容をベースに、必要性の高い班、役割から可能な範囲で設定していきましょう。班の構成、班員の編成は、マニュアル巻末資料集の様式1「組織体制(班編成表)」に整理しておきましょう。

また、地区の規模等により人員に限りがある場合は、班の統合や、班を構成せず役割を担当する係を設けるなど、地区の実情に合わせた役割分担を決めましょう。

なお、市町村で避難所運営マニュアルが作成されている場合は、そちらの内容とも照らし合わせて、活動体制及び活動内容について検討しましょう。

(2) 避難

本地区内の指定避難所、指定緊急避難場所は以下のとおりです。また、所在地が地区外であっても、災害種別や避難距離等を考慮し、本地区住民の避難先として必要な指定避難所、指定緊急避難場所も含めます。

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

令和〇〇年〇〇月現在

	施設名	所在地	対応災害						
			津波	洪水	高潮	内水氾濫	土砂災害	大規模火事	地震
指定避難所	〇〇小学校 体育館	A市B町字C1-1		○	○	○	○	○	○
	◇◇中学校 体育館	A市B町字D2-2		○	○	○	○	○	○
	△△公民館	A市B町字E3-3		○	○	○			○
	☆☆会館	A市C町字F1-1	○	○	○	○	○	○	○
地区住民の方が避難を予定している指定避難所、指定緊急避難場所をリストに整理しておきましょう。									
指定緊急避難場所	〇〇小学校 校舎2階以上	A市B町字C1-1	○	○	○	○	○		
	〇〇小学校 グラウンド	A市B町字C1-1						○	○
	◇◇中学校 校舎2階以上	A市B町字D2-2	○	○	○	○	○		
	◇◇中学校 グラウンド	A市B町字D2-2						○	○
	B町津波避難タワー	A市B町字F4-4	○						
	□□ホール 屋上	A市B町字G5-5	○						

自宅等から指定避難所、指定緊急避難場所までの安全な経路について、経路上または周辺環境の変化等が生じた場合は、必要に応じて再検討を行います。

なお、避難行動要支援者への支援、避難所運営については、P.22の「④避難誘導」「⑤避難所運営」に示したとおりです。

〇〇地区防災計画

(3) 備蓄品等

本地区で備蓄品や資機材の保管場所は以下のとおりです。なお、備蓄品については入れ替え、補充等が不定期に行われる可能性があるため、管理表を作成し、購入時期や保存期限等を把握します。

また、新型コロナウイルス感染症等の対策に必要な物品等も充実させていきます。

備蓄品等保管場所一覧

令和〇〇年〇〇月現在

備蓄品名 資機材名	数量	購入 年月日	保存期限	保管場所	管理者
飲料水	600ℓ	2013. 10. 1	2023. 8. 31	〇〇小学校 3階 保管室	A市教育委員会
乾パン	500食	2018. 9. 4	2023. 7. 20	〇〇小学校 3階 保管室	A市教育委員会
アルファ米	500食	2018. 9. 4	2023. 7. 20	〇〇小学校 3階 保管室	A市教育委員会
アルコール消毒液	100ℓ	2020. 10. 10	2023. 9. 20	〇〇小学校 3階 保管室	A市教育委員会
マスク	800枚	2020. 10. 10	-	〇〇小学校 3階 保管室	A市教育委員会
発電機	1基	2014. 7. 1	-	△△公民館 屋上 倉庫	B町自主防災会
テント	20張	2016. 10. 5	-	△△公民館 屋上 倉庫	B町自主防災会
携帯トイレ	100個	2016. 10. 5	-	△△公民館 屋上 倉庫	B町自主防災会
アルコール消毒液	30ℓ	2020. 7. 1	2023. 6. 20	△△公民館 屋上 倉庫	B町自主防災会
マスク	300枚	2020. 7. 1	-	△△公民館 屋上 倉庫	B町自主防災会
飲料水	250ℓ	2020. 9. 22	2030. 8. 31	△△公民館 2階 調理室	B町自主防災会
スープ	300食	2020. 9. 22	2025. 8. 10	△△公民館 2階 調理室	B町自主防災会
飲料水	150ℓ	2018. 5. 1	2028. 3. 31	☆☆会館 1階 事務室	C町婦人会
アルファ米	100食	2022. 6. 11	2027. 4. 30	☆☆会館 1階 事務室	C町婦人会

地区で保管している備蓄品や資機材の名称、量、購入年月日、保存期限、保管場所、管理者を記録しておきましょう。(管理者の情報について個人情報を含む場合は、管理者との相談の上で掲載の判断をしてください。)

(4) 連絡先

災害時における緊急連絡先（公的機関や防災関連施設等）は以下のとおりです。

緊急連絡先一覧

令和〇〇年〇〇月現在

機関等名	電話番号等
〇〇市役所 危機管理課	●●●-●●●-●●●●
〇〇消防本部	●●●-●●●-●●●●
〇〇警察署	●●●-●●●-●●●●
〇〇病院	●●●-●●●-●●●●
〇〇公民館	●●●-●●●-●●●●
〇〇社会福祉協議会	●●●-●●●-●●●●
〇〇市役所 上下水道課	●●●-●●●-●●●●
〇〇電力	●●●-●●●-●●●●
〇〇ガス	●●●-●●●-●●●●

災害時における緊急連絡先(公的機関や防災関連機関等の名称、電話番号等)を記録しておきましょう。(緊急連絡先の情報について、個人情報を含む場合は、関係者と相談の上で掲載の判断をしてください。)

6. 計画の実践と検証

災害発生時に、地域住民が〇〇地区防災計画に定めた防災活動を実施できるよう、〇〇〇（市町村名）や消防機関等の各関係機関と連携しながら、災害を想定した訓練を定期的に行います。

訓練は、地区住民が〇〇地区防災計画に定められている災害時の活動を確認するとともに、その実効性を検証する機会とします。また、訓練の結果を振り返り、検証することで、改善点を整理します。必要に応じて計画の内容を見直すことで、より実効性の高いものとなり、本地区の防災力を高めます。

策定・改訂履歴	
令和 ○年○○月	策定

計画の策定年月を記録します。また、これ以降に改訂を行う際にも改訂年月を記録していきましょう。

計画名と組織名は、表紙の記載内容と合わせましょう。

○○地区防災計画

令和○年○○月

○○○○（組織名（自主防災組織、町内会、自治会等））